

(10)

輝け 商店街

松山市・I

日専連名誉講師 富山短期大学名誉教授
川中清司

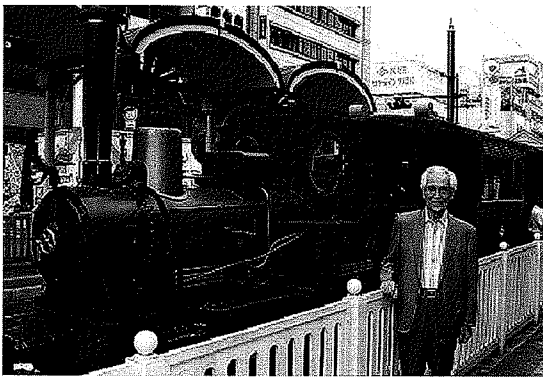
街灯にも光る子規の心 文化の香るまち「松山」

「おしろやま さかをのほれば
にゆうどうぐも」高市佳誉ちゃん
(番町小学校一年生)の句だ。

正岡子規を顕彰する小中学校俳
句大会に入賞した。この大会は今
年で四一回になる。

松山市銀天街の街路灯に二〇
〇もの句が下がっている。俳句甲
子園も毎年開かれ、今年八月の決
勝戦で開成高校が二年ぶりに優勝
した。

松山のまちいっぱいには、俳句や
文学など文化の香りがたがだよ。



半世紀ぶりに復元された「坊っちゃん列車」

「松山や秋より高き天守閣」。子
規が歌った名城がまちのまんなか
にそびえる。半世紀ぶりに復元さ
れた坊っちゃん列車がピーポーと
白い煙をはいてゆつくりと走る。

正岡子規を生み、夏目漱石が中
学教師として赴任し「坊っちゃん」
を書いたこのまちは、今も、四国
お遍路が続き、道後温泉がある観
光と文化の都市だ。

国際観光温泉文化都市 客足伸びず

温泉を中心とした観光開発とと
もに、西部の臨海地区を埋め立て
て大企業を誘致。昭和二六年には

「国際観光温泉文化都市」を宣言し
た。

アメリカのサクラメント市、ド
イツのフライブルク市とは姉妹都
市で韓国の平澤市とは友好都市だ。
平成一七年に、北条市と中島町
を合併し、人口は約五一万五〇〇
〇人となり、第三次産業のウエイ
トは七三・七%と高い。年間約五
〇〇万人の観光客が訪れる。

しかし最近では、宿泊客が減り、
旅館の売り上げも伸び悩む。道後
温泉は、四国大橋ができた頃が
ピークで一二〇万人来たが、今は
八〇万人そこそこ。奥道後温泉は、
はやってる。ジャングル風呂が
あり、朝のバイキングが人気で、
料金も安く、韓国からの客も多い。

まち全体を 屋根のない博物館に

いま、新しいまちづくりの取り
組みが進んでいる。
歴史・文化・自然など、有形無
形の財産を再認識し、独自の魅力
をだす。正岡子規たちが残した文
学に出会える「日本のことばが息
づくまち」をめざす。

まち全体を一つの博物館として
とらえる。「坂の上の雲」フィー
ルドミュージアム構想」を掲げ、

回遊性・物語性のあるまちづくり
を創造する。
平成二一年からNHKスペシヤ
ルドドラマで三年間続くとあって期
待は大きい。

子規 秋山兄弟 日本の夜明けを描く

司馬遼太郎の傑作『坂の上の雲』
に、松山出身の三人の若者が登場
する。

正岡子規は、近代俳句、短歌、
文章の革新を遂げる。秋山好古は、
陸軍で騎兵を育てあげ、最強と謳
われていたコサックを打ち破る。

秋山真之は、海軍の近代戦術を開
き、日本海海戦でバルチック艦隊
を撃滅する。ともに、日露戦争を
勝利に導き、国の難関を突破した。

それは、単なる戦記ものなどで
は勿論ない。幕藩時代から明治へ、
努力さえすれば、学者、軍人、官
吏への道が開けた。日本という国
がまだ小さく、急速に列強に伍す
るまでの段階で、若者たちは遙か
なる夢を抱いて坂を登っていった。
気構えと明るさに満ちていた。

松山市は、この思いを抱いて理
想に向かって進むもうという不屈の
意気込みが感じ取れる。

「坂の上の雲ミュージアム」が、

できる七年前、中村時広市長が司馬遼太郎未亡人の福田みどりさんに、この構想を打ち明けた。

中村時広市長の熱意 司馬夫人も賛同

だが、「坂の上の雲はだめですよ」と断られている。司馬先生が四〇歳代の一〇年間、最も油の乗り切った時代に描いた作品の真髓が、本当に伝わるかどうか、という不安があったからだ。

その後の市長の熱意と、市の具体的な行動をみて、平成一四年に許可がでた。「その時は本当に感動した」と中村市長は言う。

司馬遼太郎は「私は正岡子規が好きで好きでたまらないんだ」と、昭和五六年に子規記念館ができた時の講演で述べている。

子規と言えば、俳句や短命、病床といったイメージが強かった先人だった。しかし『坂の上の雲』に描かれた子規像は、正に、逆とも言える明るさを持ち、ユーモア精神に満ちて前向きで必死に生きている。

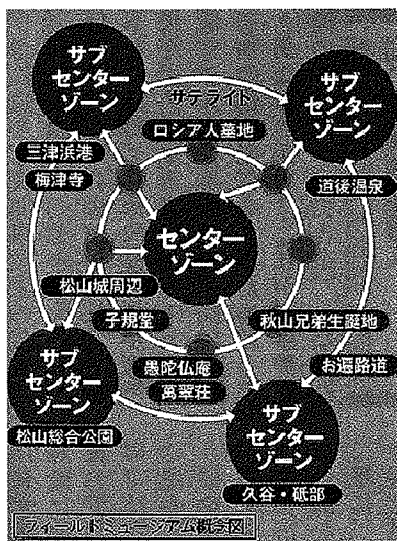
子規と秋山兄弟という先人たちの生き方を通じて、今の日本に語りかける。そういう使命感のような意気込みが、今の松山のまちづく

くりの基盤にある。

地域ゾーン 特徴活かす

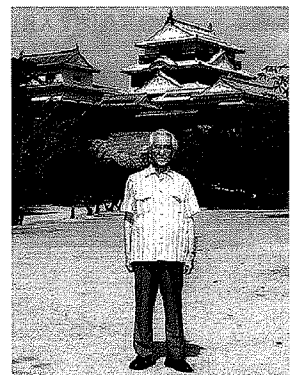
松山市には、小説と関係の深い場所や主人公たちの足跡などが多い。フィールドミュージアム構想は、それらの地域の特徴を活かし、資源を発掘し再評価することで、まちづくりを進めるというものだ。センターゾーンは中核施設の多い中心部。松山城周辺とロープウェイ街、坂の上の雲ミュージアムからなり、情報発信の機能を担う。

サブセンターゾーンは、道後温泉、松山総合公園、三津浜・梅津寺、久谷・砥部、風早、忽那諸島など史跡や施設が集中する六地域。サテライトは、子規堂や秋山兄



フィールドミュージアム構想

市内を環状に走り、松山駅から道後温泉までも行ける。市内どこまで乗っても一五〇円。三〇〇円で一日乗り放題のキップが買える。坊っちゃん列車はレトロな雰囲気を楽しめる。松山市駅から道後温泉ま



まちのシンボル「松山城」

弟の生家跡、ロシア人墓地などの史跡を中心に訪問客の回遊性を高める。センター、サブセンターゾーンと結ぶ動脈の機能を持つ。こうした全体を調和させながら「坂の上の雲」フィールドミュージアム（屋根のない博物館）を築きあげる。

公共交通の利便性向上へ

路面電車がよく整備されていて、市内を環状に走り、松山駅から道後温泉までも行ける。市内どこまで乗っても一五〇円。三〇〇円で一日乗り放題のキップが買える。

坊っちゃん列車はレトロな雰囲気が楽しめる。松山市駅から道後温泉ま

だが三〇〇円。これも、以前は八〇〇円だった。平成一三年一〇月から一台で運用開始。同一四年八月から二台体制。利用者は平成一八年度で約一四万人に達した。コミュニティバスを導入し、パークアンドライドに結ぶ。さらに、交通結節点を整備して、乗客の便宜をはかっている。

JR松山駅の立体交差化

JR松山駅は人口五〇万人の都市にしてはみすばらしい。周辺地区は、空港や港と並ぶ重要な広域交通の結節拠点。さらに、松山城や松山総合公園に隣接した恵まれた都心居住地区だ。ここを、広域交流拠点として整備する。

いよいよ、愛媛県を事業主体としたJR予讃線の鉄道高架事業と、市が主体となる土地区画整理事業をあわせて、大きな事業が展開される。JR、私鉄の乗り換えを円滑にする。JR駅に路面電車を引き込むための駅前広場を整備し、西口広場を新設する。松山駅を改築し

てJRを高架にし、駅西に簡単に
行けるようにする。路面電車は、
大手町通りからJR鉄道高架下を
通り、松山環状線（西部）までの
七〇〇メートルの区間を伸ばす。

こうして、分断されている東西
市街地が結び、交通遮断が解消
される。平成二九年度までの完成
を目指し、整備事業の規模は約三
〇〇億円。

特定地域PCで 地域再生支援にはずみ

市民や観光客が魅力を感じる個
性的なまちづくりを展開し、コン
ベンションを積極的に誘致するこ
とで交流人口を増やす。消費の拡
大と雇用の創出で持続的な発展と
地域経済の活性化を目指している。
観光客を主体とした交流人口を、
平成一五年度五〇〇万人から一九
年度は六〇〇万人へ。これによる
経済効果一〇四億円。誘発雇用
者約一万人が目標だ。

PC（プロジェクトチーム）会
議が設けられ、官民を網羅して次
の構成員で結成された。

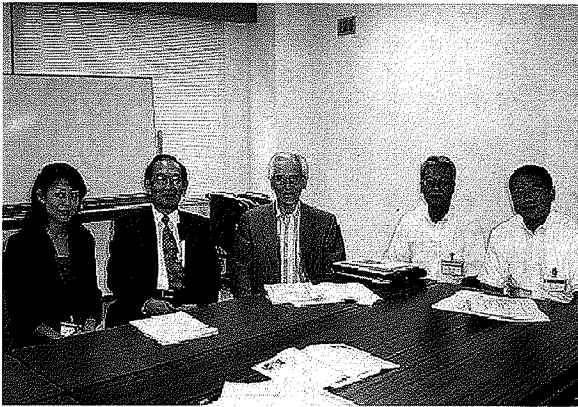
総務省四国総合通信局、愛媛県
警本部、経産省四国経済産業局、
国土交通省四国地方整備局、四国
運輸局、愛媛県、松山市のほか、

伊予鉄道など民間事業者の代表。

平成一六年、一七年の両年にか
けて度重なる会合が持たれ、次の
事業に向け、具体的な計画が練ら
れた。アーケード街などに大型映
像ディスプレイの設置。商店や商
店街の情報発信をするためのIC
タグなどの活用。これが、事業展
開のトリガー（引き金）となった。

国の支援積極導入

松山市は、まちづくりと活性化
のために、いろいろな国の支援措
置を活用している。しかし、市や



松山市のまちづくりを研究（市企画政策課と日専連えひめ）19年9月20日
矢野大二・企画政策課長（右2人目）、筆者（中央）、田中邦夫社長（その左）

団体が補助金を貰ってハコモノや
施設に費やしたり、イベントに
使ってお茶を濁すといった類のも
のではない。

中心に「坂の上の雲」構想とい
う柱を据えて、手段としては、I
T、交通を駆使し、NPO活動、
学生、市民、商業者の協力など、
複合的な幅広さで支えている。

単に、中心市街地を賑わせるこ
と
といった単純なものではなく、日本
人の心を見つめ直し、今、日本が
直面している方向性を考えさせる
というものだ。

大学生とNPOの融合

NPOやボランティアなどの
の市民活動が活発で、行政と
市民が一体となって、まちづ
くりに参加する気運が強い。

市内には、松山大学など四
つの大学がある。愛媛大学の
『愛大ボランティアオーガニ
ゼーション(AIVO)』が各
大学に連携を呼びかけ、さら
に、NPOのネットワーク強
化を目指した。

平成一七年七月に松山市は、
支援事業で内閣総理大臣の認
定を受けた。「まちを知り、愛

します松山」俺たちができる、ま
ち再生計画』『大学とNPOの融
合』への仕掛けで、内閣府の地
域再生に資するNPO等の活動支
援事業だ。

平成一八年一〇月には「市民活
動推進条例」ができて、運動に弾
みがついた。大学生、市民ボラン
ティアなどが連携を強めて、地域
再生活動に取り組み始めた。

こうした活動が、コミュニケー
ションを高め、新たな雇用の場の
創造と定住人口の増加につながる
ことも期待される。

まちづくり交付金の活用

平成一四年度から三年間で、市
内全域に三〇〇キロメートルの光ケープ
ルを敷設した。どこからでも高速
大容量の通信ができる基盤整備を
進め、平成一六年度から、総務省
の「ITビジネスモデル地区」に
指定された。

まちづくり交付金は、国が進め
る「三位一体の改革」のなかで、
補助金削減の一環として、平成一
六年度に国土交通省が新たに創設
したものだ。

特徴として、「地域の自主・裁量
性の極めて高い制度」で、市町村

が作成した「地域の課題解決・目標達成の事業」が土台となる。交付期間は、おおむね三〜五年。

平成一六年から二〇年にわたって国土交通省に認定され、当初の事業費は約九〇億円で、その四〇%が国費投入される。

まちかど案内情報発信

『坂の上の雲』のまち再生計画で行った、まちかど案内情報発信事業は、同交付金や合併特例債を活用して、平成一七年度には六〇〇〇万円でシステムを開発。平成一八年度から約二億四〇〇〇万円をかけて、発信内容の作成、機器の構築、市内一三カ所に情報発信施設

を設置し、一九年度に、供用を開始した。

いま、大街道の愛媛銀行、ラフォーレ交差点やJR松山駅、市駅などの交通結節点や観光施設に、大型のビデオや情報端末機（タウンボード）が設置されている。

映像、電子文字、携帯電話、ポスター、情報誌を媒体として、市の施設、イベント、市民告知事項などの案内を、きめ細かく伝えている。これらは、地元消費者の買い物選択など、顧客満足度の充実に促進に役立っている。

あわせて、観光情報の発信、販促広告など、多方面の利用が期待される。たとえば、滞在期間にあわせた目的地の選定や、行きたい店、買いたい土産品や特産品などに活用される。

政策投資銀行の低利融資

松山全日空ホテルのコンベンション施設改装に、低利融資を活用した。松山総合開発㈱に対して、伊予銀行と協調して融資された。

中規模のコンベンション拠点が確保されて、外国からの来客にも対応できるようになった。一七年度のコンベンション受注率は約七

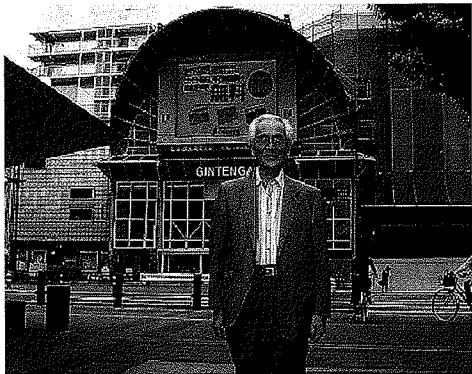
%伸びた。

中心部賑わい回帰すむ

今後は顧客ニーズの把握やサービス向上にITも活用しながら、個店と商店街の魅力を高め、まちの顔としての中心商店街の活性化を図っていく。すでに、いくカードで路面電車や買い物利用など、具体的に歩み始めている。

最近、中心市街地に分譲マンションが立ち並び、人が、まちの中心部へ回帰してきている。毎年約三〇〇室のマンションが増えている。

坂の上の雲ミュージアム記念館の整備やロープウェイ駅舎のリニューアルなど、松山城周辺の観光客受け入れ体制が順調に進んでおり、まちの中心部に多くの人がとが行き交うことが期待される。



銀天街の大型ビデオ



まつやまインフォメーションタウンボード